

一般 六千六百万円を追加

教育委員に星野聰郎氏を選任

第四回定例市議会

昭和五十七年第四回定例市議会が、九月六日から二十日までの十五日間開かれました。

今回の定例会では、日光市教育委員会委員の任命、六千六百万六千円の一一般会計補正予算、リフト事業、水道事業の企業会計の決算認定など八議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

人事

日光市教育委員会委員の任命

九月三十日で任期が満了となった日光市教育委員会委員星野聰郎氏が選任同意されました。

星野氏は、大正十二年一月二十九日生まれ、六十歳。昭和二十二年日光中学校教諭、同三十九年日光小学校教諭、同四十二年東中学校教諭、同四十六年小来川小学校校長、同四十八年日光中学校校長、同五十四年今市立第三小学校校長、同五十六年東中学校校長、同五十七年四月から日光市教育委員会委員（教育長）

条例の制定

障害に関する用語の整理に関する条例

この条例は、障害者の福祉を促進する見地から、条例に用いられる

補正予算

昭和五十七年度一般会計の歳入歳出をそれぞれ六千六百万六千円を追加し、予算総額は、五十六億七千五百二十三万四千円になりました。

補正の主なものは、所野公園内

条例の一部改正

水道事業の設置等に関する条例
所野井戸ポンプ取水場の給水量の増加により、これまでの水道事業の一日最大給水量一万三千四百立方メートルを一万四千八百立方メートル増しました。

決算の認定

昭和五十六年度日光市リフト事業会計決算
収益的収入は一億五千六十六万五千五百七十一円、収益的支出は一億四千三十八万六千八百五十円。また、資本的収入は八千万円、資本的支出は一億一千三百二十八万一千円になりました。なお、資本的収入額が支出額に対して不足した額は、当年度損益勘定留保資金と建設改良積立金で補てんしました。

陳情

幼稚園教育振興に対する陳情について
弓道場建設に関する陳情について
牛肉等農産物輸入自由化反対に対する陳情について

報告事項

日光市表彰条例施行規則の一部改正について
姉妹都市親善訪問について
日光観光開発株式会社の経営状況について
日光市観光施設管理公社の経営状況について
日光夏まつりの終了について
七里土地画整理事業について

表紙シリーズ

市民の中に

生きる文化財

かけなしの遺跡

「かけなし」は室町時代の日光で盛んだった峰修行のひとつ「生の峰」コースの駆け出しの宿に起源をもっている。山久保、小来川を経て峰沿いに流出を目指し、帰りは足尾の峰から駆け出した。修験の霊地である。後世、峰修行の衰退とともに「駆け出し」は「かけなし」と民間に誤り伝えられたが、損壊著しい不動明王像その他は、実に五百年前の修験の行蹟を今日に留める貴重な石仏であり、境内の石段及び敷地内の古い石組みもまたその遺跡である。

秀吉による日光神領の没収施策のため、天正期から江戸初期（一六〇〇年前後）にかけて、かけなし宿はいったん衰滅に帰したが、地元の郷民は「一の原野を「欠無」と呼んでこれを尊んだ。正徳期（一七〇〇年代初め）所野竜門寺の末寺として「欠無庵」が開基され、以後、安政期（一八〇〇年代半ば）に至るまで、八代の住持たちが常住したのも、修験の霊地たるの法縁を